

令和7年度 川崎市立看護大学 入学者選抜試験 概要

1 募集定員

選抜区分		募集定員
一般選抜	前期日程	70名
	後期日程	5名
特別選抜	学校推薦型選抜	25名
	社会人選抜	若干名

2 入学者選抜試験日程（予定）

選抜区分		出願期間※	試験日	合格発表日
一般選抜	前期日程	1月27日（月） ～	2月25日（火）	3月6日（木）
	後期日程	2月5日（水）	3月12日（水）	3月21日（金）
特別選抜	学校推薦型選抜	11月1日（金） ～	11月16日（土）	12月12日（木）
	社会人選抜	11月7日（木）		

※出願書類は出願期間中必着となります。ご注意ください。

3 学校推薦型選抜について

(1) 方式

公募推薦方式

(2) 出願資格

次のアからウのすべてに該当し、かつ学校教育法に定める高等学校又は中等教育学校の校長が責任をもって推薦する人

ア 次のいずれかに該当する人

(ア) 神奈川県内又は東京都内(以下「指定地域」という)の高等学校又は中等教育学校を令和6年3月に卒業した人、もしくは令和7年3月卒業見込の人

(イ) 川崎市の住民(※)で上記指定地域以外の高等学校又は中等教育学校を令和6年3月に卒業した人、もしくは令和7年3月卒業見込の人

※「川崎市の住民」とは、本人又はその配偶者若しくは本人からみて1親等である親族のいずれかが令和6年4月1日以前から引き続き川崎市内に住所を有する人をいいます。

イ 調査票の全体の評定平均(※)が3.8以上の人

※全体の評定平均とは、全ての教科・科目の評定の合計数を全ての評定数で除した数値(小数点第2位を四捨五入)をいいます。

ウ 入学を許可された場合に必ず入学する人

エ 卒業後、川崎市内に看護職として就職する意志がある人

(3) 選抜方法

- ・ 本学が実施する個別学力検査等(個人面接・小論文)
- ・ 本学を志す理由を記載した志願書
- ・ 調査書

により総合的に選抜します。

なお、小論文試験は所要時間80分、800字程度の文章を書くことを求めます

(4) 配点

個人面接	小論文	調査書
段階評価	段階評価	段階評価

4 社会人選抜について

(1) 出願資格

次のアからウのすべてに該当する人

ア 次の（ア）から（ウ）のいずれかに該当する人

（ア）学校教育法に定める高等学校又は中等教育学校を卒業した人

（イ）通常の課程による 12 年の学校教育を修了した人

（ウ）学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人

イ 令和 6 年 4 月 1 日において年齢が満 23 歳以上の人

ウ 出願時に社会人としての職務経験を 1 年以上、かつ週 30 時間以上の労働時間を有する人

エ 入学を許可された場合に必ず入学する人

オ 卒業後、川崎市内に看護職として就職する意志がある人

(2) 選抜方法

・ 本学が実施する個別学力検査等（個人面接・小論文）

・ 本学を志す理由を記載した志願書

により総合的に選抜します。

なお、小論文試験は所要時間 80 分、800 字程度の文章を書くことを求めます

(3) 判定

個人面接※	小論文
段階評価	段階評価

※本学を志す理由を記載した志願書の評価を含みます。

5 一般選抜

(1) 出願資格

次のアからウのいずれかに該当する人及び令和7年3月31日までに該当する見込の人で、令和7年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目を受験した人

ア 学校教育法に定める高等学校又は中等教育学校を卒業した人

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した人

ウ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人

(2) 選抜方法

- ・ 大学入学共通テスト
- ・ 本学が実施する個別学力検査等（個人面接・小論文）
- ・ 本学を志す理由を記載した志願書
- ・ 調査書

により総合的に選抜します。

なお、小論文試験は所要時間80分、800字程度の文章を書くことを求めます。

(3) 大学入学共通テスト

ア 一般選抜（前期）において指定する教科・科目（必須2科目、選択1科目）

教科	グループ	科目	必須	選択
国語		『国語』（近代以降の文章）	○	
地理歴史		『地理総合，地理探究』 『歴史総合，日本史探究』 『歴史総合，世界史探究』		○ ただし、『地理総合／歴史総合／公共』については、2出題範囲を選択・回答してください。
公民		『公共，倫理』 『公共，政治・経済』 『地理総合／歴史総合／公共』		
数学	①	『数学Ⅰ，数学A』		○
	②	『数学Ⅱ，数学B，数学C』		○
理科		『物理基礎／化学基礎／ 生物基礎／地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』		○ ただし、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』については、2出題範囲を選択・回答してください。
外国語		『英語』（リーディング・リスニング）	○	

※「選択」について必要数以上受験した場合は、最高得点の1科目を合否判定に使用します。

イ 一般選抜（後期）において指定する教科・科目（必須3科目、選択1科目）

教科	グループ	科目	必須	選択
国語		『国語』（近代以降の文章）	○	
地理歴史		『地理総合，地理探究』 『歴史総合，日本史探究』 『歴史総合，世界史探究』		○ ただし、『地理総合／歴史総合／公共』については、2出題範囲を選択・回答してください。
公民		『公共，倫理』 『公共，政治・経済』 『地理総合／歴史総合／公共』		
数学	①	『数学Ⅰ，数学A』	○	
	②	『数学Ⅱ，数学B，数学C』		○
理科		『物理基礎／化学基礎／ 生物基礎／地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』		○ ただし、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』については、2出題範囲を選択・回答してください。
外国語		『英語』（リーディング・リスニング）	○	

※「選択」について必要数以上受験した場合は、最高得点の1科目を合否判定に使用します。

ウ 旧教育課程履修者に指定する大学入学共通テストについて

新教育課程以外を履修した方（令和6年3月以前に高等学校等を卒業した方等）は上記ア及びイに加え、旧教育課程履修者等に対する経過措置として出題される次の教科・科目での受験も可とします。

（ア）一般選抜（前期）において指定する教科・科目

教科	グループ	旧教育課程履修者等に対する経過措置			
		旧教育課程による出題科目	必須	選択	
地理歴史		『旧世界史 A』			
		『旧世界史 B』			
公民		『旧日本史 A』			
		『旧日本史 B』			
		『旧地理 A』			○
		『旧地理 B』			
		『旧現代社会』			
		『旧倫理』			
		『旧政治・経済』			
		『旧倫理, 旧政治・経済』			
数学	①	『旧数学 I, 旧数学 A』	○		
	②	『旧数学 II・旧数学 B』 『旧数学 II』 『旧簿記・会計』 『旧情報関係基礎』	○		

(イ) 一般選抜（後期）において指定する教科・科目

教科	グループ	旧教育課程履修者等に対する経過措置		
		旧教育課程による出題科目	必須	選択
地理 歴史		『旧世界史 A』 『旧世界史 B』 『旧日本史 A』		
		『旧日本史 B』 『旧地理 A』 『旧地理 B』 『旧現代社会』 『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理, 旧政治・経済』		
数学	①	『旧数学 I, 旧数学 A』	○ 新教育課程による出題科目『数学 I, 数学 A』での受験も可とします。	
	②	『旧数学 II・旧数学 B』 『旧数学 II』 『旧簿記・会計』 『旧情報関係基礎』		○

(4) 判定

ア 一般選抜（前期）

大学入学共通テスト			個人面接	小論文	調査書※3
国語※1	英語※2	選択科目			
100点	100点	100点	段階評価	段階評価	段階評価

※1 「近代以降の文章」110点満点を100点に換算して使用します。

※2 リーディング（100点満点）×0.5+リスニング（100点満点）×0.5=100点として使用します。

※3 特に数学の学力について、調査書を活用して学力を測ります。

イ 一般選抜（後期）

大学入学共通テスト				個人面接	小論文	調査書
国語※1	英語※2	数学	選択科目			
100点	100点	100点	100点	段階評価	段階評価	段階評価

※1 「近代以降の文章」110点満点を100点に換算して使用します。

※2 リーディング（100点満点）×0.5+リスニング（100点満点）×0.5=100点として使用します。

(5) 一般選抜における二段階選抜について

募集定員に対して出願者数が大幅に超過した場合は、次のとおり二段階選抜を実施する場合があります。大学入学共通テストの成績をもとに第1次段階選抜を実施し、第1次段階選抜合格者に対して第2次段階選抜として個別学力検査等を行います。

試験区分	募集定員	二段階選抜実施倍率	第1次選抜合格者数（予定）
前期	70名	4.0倍	280名
後期	5名	20.0倍	100名

6 入学時成績優秀者奨学金（特待生制度）について

（1）目的

入学試験において優秀な成績を上げ、かつ将来への目的やビジョンを明確に持つ学生の、大学前半における看護教育の基礎的教育課程を集中して取り組める環境作りを目的として特待生制度を設けています。

（2）詳細

ア 採用人数

5名

イ 対象者

一般選抜（前期）合格者及び学校推薦型選抜合格者かつ出願時に意思を示した者

ウ 給付期間

入学後2年間

エ 給付金額

入学金と2年間の授業料（最大 1,353,600円）

オ 選考方法

一般選抜（前期）における成績上位5人までを認定

（3）学校推薦型選抜受験者について

次の方法によって、学校推薦型選抜を受験される方も、本制度に申し込むことができます。

ア 申込方法

- ① 学校推薦型選抜出願時に、願書内の特待生制度申込欄に○をして提出。
- ② 大学入学共通テストに、本学の一般選抜（前期）日程において本学が指定する科目で出願。
- ③ 大学入学共通テストの受験票を受領後、学校推薦型選抜合格通知時に同封された奨学金成績判定申込書に大学入学共通テスト受験番号を記載かつ成績請求票（国公立前期用）を貼り付けて本学に提出。

イ 選考方法

一般選抜（前期）受験者と合わせて選考します。ただし、個別学力検査等（小論文・個人面接・書類選考）については、学校推薦型選抜時の判定を使用します。

ウ その他

- （ア）本制度に出願する場合、別途入学選考料は発生しません。
- （イ）特待生として認定された場合、入学料及び授業料相当額を入学後に給付します。
- （ウ）大学入学共通テストの成績は、学校推薦型選抜の合格可否に影響しません。
- （エ）入学後の学業成績等によって、本制度の資格を取り消すことがあります。